

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-1-4	事業名	みんなが集い学び楽しむ公園緑地づくり事業
担当	環境局みどりの推進部みどりの管理課 梅津 211-2536		
全体計画			
事業内容	公園緑地の利活用促進、ボランティア活動や公園樹木落葉等のリサイクル活動の拡充のため、市民との協働のもと各種取り組みを一体的に実施する。 公園緑地の利活用促進 9,500千円 ・利活用促進に関する市民プロジェクトを設置し、イベントなどの企画・実施、効果的な情報の受発信の検討・実施などを行うとともに、積極的な情報提供を行うため、拠点機能の充実強化・新設などによる拠点とネットワークづくりを進める。 公園・森林ボランティア活動の拡充・促進 7,000千円 ・ボランティア活動の事例紹介、情報提供、募集PRなどの普及啓発、必要物資の提供や技術指導など支援の充実を図る。また、森林ボランティア等との協働により、現況把握のための立木・選木等調査を行い、管理方針を策定する。 公園樹木落葉等のリサイクル活動の拡充・促進 0千円 ・市民への提供に向けた市民との協働により公園樹木落葉等の腐葉土化や、剪定枝等の有効活用を進める。(事柄のみ計画化 通常の公園管理、ごみ減量事業で対応)		<年度別の事業内容> 同左事業を単年度ごとに実施していく。
	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)
事業内容	公園緑地の利活用促進 ・モエレ沼公園チューブスライダー実施(4日間延390人来場) ・市民団体と共催によるイベント実施 旭山記念公園でイグルーやかんじき作り講習(50人参加) 南区内公園数カ所での冬の遊び講座 ・札幌ふれあいの森子ども向け森づくり体験会実施(30人参加) ・市民団体との冬の公園利用促進の検討会、児童会館との子ども企画会議、大学生による遊びツール作成、市民団体とのカーボンオフセットの森づくり検討会、国・道・市連携事業の検討実施 森林・公園ボランティア活動の拡充・促進 ・公園ボランティア団体の活動へ必要資材等を提供(8公園) ・森林ボランティアの安全作業講習会実施(4回60人参加)、専門家派遣(3回)、協働での調査・管理方針策定(1カ所/常盤)、登録制度の拡充に向けた検討 公園樹木落葉等のリサイクル活動の拡充・促進 ・2カ所設置、各区・団体の取組状況把握・課題整理等を実施		公園緑地の新たな利活用促進 ・市民団体と共催によるイベント等実施 白旗山フェスティバル開催(1回 市民団体・清田区共催) カーボンオフセット「サミットの森」等の実施(1回) 市民団体によるワークショップ等支援(8回) ・児童会館との連携による子供企画イベント実施(2回) 札幌ふれあいの森環境体験バスツアー実施(1回) 国(滝野)道(真駒内)市(ふれあいの森)連携イベント(15回) ・ニュースポーツイベント(トレイル・ラン)実施(2回) 指定管理者等と市民団体等との連携・協力イベント(12回) ・各区と市民・地域団体等との連携・協力イベント(7回) ・市民参加による利活用促進検討(意見交換会1回・調査検討業務実施) 森林・公園ボランティア活動の拡充・促進 ・公園・森林ボランティア普及啓発 パンレット作成 ・公園ボランティア団体の活動へ必要資材等を提供 南区、東区、西区等への支援実施 ・新たな森林ボランティア登録制度による促進・支援実施 公園樹木落葉等のリサイクル活動の拡充・促進 ・各区・団体の取組状況把握・課題整理等を実施 ・堆肥ヤード設置支援(5カ所)
	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)
事業内容	公園緑地の利活用促進 ・市民団体と共催によるイベント等実施 白旗山フェスティバル開催、カーボンオフセット植樹等の実施 市民団体によるワークショップ等開催支援 ・児童会館との連携による子供企画イベント実施 札幌ふれあいの森等における子供向け環境体験イベント実施 ・国・道・市連携イベント実施 ・ニュースポーツイベント(トレイル・ラン等)実施 ・指定管理者等と市民団体等、各区と市民・地域団体等との連携・協力イベント開催支援 ・市民参加による利活用促進検討(情報交流会開催・調査検討業務実施) 森林・公園ボランティア活動の拡充・促進 ・公園ボランティア団体の活動へ必要資材等の提供 森林ボランティアの安全作業講習会実施、専門家派遣 ・森林ボランティアとの協働による森林現況調査・管理方針策定 ・公園・森林ボランティア活動促進に向けた支援等に関する検討 公園樹木落葉等のリサイクル活動の拡充・促進 ・各区における堆肥ヤード設置支援 ・各区・団体の取組状況把握・課題整理等を前年度に引き続き実施		
	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)
事業内容	公園緑地の利活用促進 ・市民団体と共催によるイベント等実施 白旗山フェスティバル開催、カーボンオフセット植樹等の実施 市民団体によるワークショップ等開催支援 ・児童会館との連携による子供企画イベント実施 札幌ふれあいの森等における子供向け環境体験イベント実施 ・国・道・市連携イベント実施 ・ニュースポーツイベント(トレイル・ラン等)実施 ・指定管理者等と市民団体等、各区と市民・地域団体等との連携・協力イベント開催支援 ・市民参加による利活用促進検討(情報交流会開催・調査検討業務実施) 森林・公園ボランティア活動の拡充・促進 ・公園ボランティア団体の活動へ必要資材等の提供 森林ボランティアの安全作業講習会実施、専門家派遣 ・森林ボランティアとの協働による森林現況調査・管理方針策定 ・公園・森林ボランティア活動促進に向けた支援等に関する検討 公園樹木落葉等のリサイクル活動の拡充・促進 ・各区における堆肥ヤード設置支援 ・各区・団体の取組状況把握・課題整理等を前年度に引き続き実施		

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	4-1-4			事業名	みんなが集い学び楽しむ公園緑地づくり事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
公園緑地ボランティア登録団体数(累計)	31団体	37団体	50団体	-	-	50団体	
[公園緑地]利活用促進のためのイベント等実施数	-	15回	50回	70回	100回	100回	
[参考] 堆肥ヤード設置力所数 [市民参加による堆肥化・配布等の実施力所]	6力所	8力所	13力所	17力所	18力所	18力所	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 市民・団体等の参加・協力によるボランティア活動の充実促進に取り組んでいるほか、利活用促進では、市民団体との連携によるイベント実施、児童会館・国・道との連携によるイベント実施など市民・団体はもとより幅広い主体との連携を進めている。リサイクル活動では、集草・堆肥化・配布の各段階でボランティア団体、町内会、小学校等の参加・協力・連携により実施している。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] 国・道・市連携イベントへの協賛、カーボンオフセット植樹後の管理への資金提供を得ている。 [人材協力] イベント企画への参加・アドバイスなど専門知識を持つ人材の協力を得ている。 [情報協力] イベント告知などに情報誌発行企業の協力を得ている。 [その他の協力] 施設見学の受入、イベントへの飲料の提供等の協力を得ている。</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり イベント実施では、市民団体等と連携することで、多くの市民が参加する魅力あるイベントとするよう努めている。森林ボランティア制度を改正し、団体登録に加え活動を希望する個人登録と受入団体登録を追加し、より多くの市民が参加しやすい制度とした。リサイクル活動では、より多くの市民が参加できるよう収集・堆肥化・配布などの各段階での参加を進めている。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>公園緑地の利活用促進 ・活動団体・市民・児童・企業・行政機関等多様な主体の参加・連携・協力により、魅力ある内容や新たな実施形態などによるイベント等が検討・実施され、着実に公園緑地の利活用促進を図りつつある。 ・市民団体が自らイベントを開催するなど、市民が主体となった公園緑地の利活用促進が図られている。</p> <p>公園・森林ボランティア活動の拡充・促進 ・継続的な支援等の実施により、着実にボランティア登録団体数は増えており、ボランティア活動の拡充や促進が図られている。 ・森林ボランティア制度見直しにより、より多くの市民参加を可能とする仕組みづくりを進めた。</p> <p>公園樹木落葉等のリサイクル活動の拡充・促進 ・ごみ減量など環境問題への関心の高まりと相まって、公園樹木落葉のリサイクル実施箇所が増加しており、市民参加による活動促進が図られている。</p>			<p>公園緑地の利活用促進 ・さらなる公園の利用促進に向け、市民、活動団体、企業等の多様な主体の参加によるワークショップなどを通じて市民ニーズの的確な把握や新たな視点に立った参加・連携による公園緑地の利活用の検討・実施、資金協力など企業等との連携・協力を図ることが必要である。</p> <p>公園・森林ボランティア活動の拡充・促進 ・より積極的な普及啓発や団体等が必要とする支援の充実を図る必要がある。 ・道が導入予定の「仮称森林環境税」の用途として掲げる市民による植樹運動展開など本市における対応が求められる。</p> <p>公園樹木落葉等リサイクル活動の拡充・促進 ・ごみ有料化実施などさらなるごみ減量への本市取組を踏まえ、より多くの市民参加による公園樹木落葉等のリサイクル活動の効果的な促進を図る必要がある。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>「公園緑地の利活用促進」、「公園・森林ボランティア活動」、「公園樹木落葉等リサイクル活動」について、より市民にとって魅力ある事業内容に向けた見直し・改善を図り、効果的な事業展開を図る。</p> <p>公園緑地の利活用促進 ・支援協力などの充実をとおして、市民・活動団体・企業等の主体による利活用促進を図る。</p> <p>公園・森林ボランティア活動の拡充・促進 ・より効果的な支援等の検討・実施により、本市におけるボランティア活動の拡充・促進を図っていく。</p> <p>公園樹木落葉等リサイクル活動の拡充・促進 ・効果的な活動展開を図りつつ、各区や地域における要望・需要に応じて、実施力所を拡大していく。</p>							

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		4-1-4		事業名	みんなが集い学び楽しむ公園緑地づくり事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	4,225	4,225	4,225	3,825	16,500	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の他	0	0	0	0	0	
一般財源	4,225	4,225	4,225	3,825	16,500		
予算	事業費	3,375	3,330	3,164	-	9,869	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0		0	
	市の債	0	0	0		0	
	その他の他	0	0	0		0	
一般財源	3,375	3,330	3,164		9,869		
実績	事業費	2,021	2,634	-	-	4,655	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0			0	
	市の債	0	0			0	
	その他の他	0	0			0	
一般財源	2,021	2,634			4,655		
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)				47.4%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度] 3つの既存小事業による予算付及び事業実施に至ったため計画との差異が生じた。							
[20年度] 3つの既存小事業を統合し1事業としたが、既存小事業ベースの予算付となったため計画との差異が生じた。							
[21年度]							